

紫塚同窓会報

第49号

発行者 池嶋英哲
発行日 令和6年12月16日
発行所 栃木県立大田原高等学校
紫塚同窓会
印刷所 川上印刷所

扉を開けてもう一步

同窓会会長 池嶋 英哲（高20回卒）



大高は、国公立大学を始め、有力私立大学入学を目指すことを目標に生徒が集まる進学校と言われてきました。令和5年度の進学状況を見ますと、卒業生198名のうち、国公立大合格者が129名と、65%以上の合格者を数え、また、有力私大にも数多くの生徒を合格させています。生徒の皆さんの努力と、指導に当たられた先生方の適切にして、きめ細かい教えるの賜物と考えます。しかし、今後とも大高が県北の雄と言われるためには、旧帝大の流れをくむ大学や、早慶を始めとする有名私大や、医学部へ進学する生徒を輩出し、実績を積み上げていかなければと思います。今度、26年度入試から慶応大学医学部が、卒業後に本県内に医師として一定期間勤務することを条件に、「地域枠」創設を決定し、県が就学資金を貸与し、県が指定する医療機関で9年間勤務すれば返金全額免除となるそうです。他にも医学部や有名私立大学でも指定校推薦を行っている学校はたくさんあります。入試情報に注意を払い、指定校推薦を選択することもありだと思えます。結果ができれば、大高で学び、85km強歩や寒稽古で体を鍛え世の中で活躍しようとする生徒が、新しい大高の歴史の扉を開いてくれるものと信じています。そのためにも、今後の同窓会を中心になって運営してくれる会員が育ってほしいとの思いで、令和6年度の総会において、返信のない常任理事、理事の扱いについて提案させていただきました。総会、常任理事会の案内に未返信の常任理事、理事が、代表常任理事44名中15名、常任理事127名中48名、理事393名中316名、合計379名おいでになること。

住所不明者が、代表常任理事1名、常任理事8名、理事27名おいでになることと、今年の10月に郵便料金的大幅な値上げが決まっていることもあり、審議の結果以下の通り承認されました。

住所不明の方には通知しない。本年度の6月総会、2月（2025年）常任理事会に未返信の方には

通知しない。ただし、事務局より今後通知しない旨お知らせする。以上のように決定いたしました。今後は本部指導で、同窓会の活動に協力して下さる、特に、平成になってからの卒業生の皆さんを中心をお願いしたいと思っています。私たち同窓会の会員も、生徒や先生方の努力に報いるためにも、一丸となり、物心両面での支援ができる会でありたいと思います。

全員で扉を開きましょう。

「期待に応える」

栃木県立大田原高等学校長 君島 芳一



紫塚同窓会の皆様には日頃より本校の教育活動に深いご理解とご支援を賜りまして誠にありがとうございます。

この紙面をお借りしまして、今年度の学校の近況についてお知らせしたいと思います。一学期は伝統行事である85キロ強歩を5月15日から16日にかけて実施しました。今年の強歩も途中から雨が降りましたが、5年ぶりに85キロ強歩の完全実施ができました。無事に実施できたのも、同窓生やPTAの皆様、地域の皆様のおかげと感謝いたします。強歩を経験し、生徒はひと回り大きく成長したと感じています。今回の強歩は無事に終了できましたが、安全上の様々な課題が残り、次年度の開催に向けて実施規模や内容についてはPTAからのご意見等も踏まえ学校としても検討を重ねているところです。夏休み明けの8月31日（土）には「大高祭」を、一般客をお迎えして実施しました。台風の接近により天候が心配されましたが、各クラス、文化部、有志団体等、生徒たちの創造性溢れるアイディアにより、今までの大高祭に引けをとらない内容となりました。特に、大高祭のフィナーレを飾る大高祭名物の万歳同盟や応援団による演舞は校歌にも謳われている「若き生命の感激」を象徴するかのようでした。学校行事を実施する中で、学校行事の意義を改めて感じる事ができました。行事のたびごとに、大高生らしい創造性を発揮

し、何事にも前向きに取り組む姿はまさに「質素堅実」の校訓が息づいていると感じることができました。

また、SSH（スーパーサイエンスハイスクール）も今年度文部科学省から 2 期 5 年の指定を新たに受け、昨年度までの 1 期 5 年の成果を土台として、生徒はそれぞれの研究テーマごとに主体的な活動を行っています。SSH の活動においては、同窓生の方々の支援なしには考えられないほど、お力添えをいただいております。本当に有難く、頼もしい限りです。

社会情勢が日々刻々と変化し先行きが不透明な世の中ですが、これからも歴史と伝統の重みをかみしめながら、本校への期待に応えるために、教職員、生徒が一丸となって精進努力を重ねていきたいと考えています。

最後になりますが、今後も那須雪崩事故の教訓を胸に刻み、生徒、教職員にとって安全・安心な学校づくりに邁進していく所存ですので、紫塚同窓会の皆様におかれましても母校大高の発展と後輩の成長のために叱咤激励をいただければ幸いです。

小山田氏によれば、モノづくりの原点は幼いころに祖父がつくった机にあり、祖父・父・本人と 3 代にわたって受け継がれた『つくる楽しさ』にあったようです。

那須高原ビールオープンから 27 年間は、那須の水害や新型コロナ等の影響が多大ではありましたが、『おいしさに愛を込めて』を合言葉にビールづくりを行い、現在 20 種類の地ビールを醸造しているとのことでありました。その中で、地産地消に意を払っており、那須地方産二条大麦と那須地方産ホップを活用した地ビール醸造にチャレンジ中であり、また、九尾の狐から名前を採った『ナインテイルドフォックス』やラベルにも地方色を採り込む等の取組は、これぞモノづくりスピリットの真骨頂と言ったところではないでしょうか。

地ビールの原点を目指して、これからも美味しい地ビール造りに精進して行きたいとのことでした。地ビールは心と体の健康に良い究極の健康飲料です。と目を輝かせる小山田先生の熱誠に満ちた雄姿が印象的な講演でした。

『地ビール万歳そして乾杯！』

2023・2024 事業報告

霜月懇話会

(文責:副会長 藤原和美)

日 時：令和 5 (2023) 年 11 月 18 日 (土)
18:00～

会 場：大田原温泉ホテル龍城苑

参加者：池嶋会長以下役員 8 名、常任理事・理事・会員 12 名、千草会郡司会長以下千草会 4 名、大田原女子高吉成校長、君島校長以下担当職員 3 名 計 29 名

○ 4 年ぶりの開催となった今回は、小山田孝司那須高原ビール株式会社代表取締役（高 24 回卒・紫塚同窓会常任理事）に、『秘密な地ビールと私』と題して、ご講演を頂きました。



当日は、郡司千草会会長や吉成大田原女子高校長にもご参加を頂き、総勢 29 名での開催となりました。

第 4 回正副会長監事会

日 時：令和 6 (2024) 年 1 月 24 日 (水)

会 場：大高小会議室

参加者：池嶋会長以下役員

○ 常任理事会を前に懸案事項の打合せを行った。

常任理事会

(文責:副会長 神島仁誓)

日 時：令和 6 (2024) 年 2 月 22 日 (木)
18:00～

会 場：大田原温泉ホテル龍城苑

参加者：池嶋会長以下役員 10 名、常任理事 21 名 (代理含む) 君島校長以下学校職員 4 名 計 35 名

○ 令和 5 年度十年会該当年次の渡辺和栄氏（高 35 回）が議長を務めて議事が進行する。議事内容は例年同様令和 5 年度事業報告及び一般会計・特別会計中間報告、令和 6 年度事業計画（案）・一般会計予算（案）であり、加えて返信のない常任理事・理事の扱い（案）を協議した。

○ その他に入り、石塚隆一氏（高 37 回）から能登半島地震への同窓会としての対応について質問があり、同窓会としては対応しないとの回答があった。

〈常任理事会出席年次〉

高10回・11回・16回・18回・20回・21回・22回・24回・
28回・30回・31回・32回・35回・37回・40回・43回・
46回・51回・56回

第76回同窓会入会式

日 時：令和6年(2024年)2月29日(木)
会 場：大高第1体育館
参加者：池嶋会長

- 令和5年度の卒業生は198名である。創設以来の卒業生は、旧制中学(第1～44回)時代に3,806名、併設中学校の第1回・第2回で50名、高等学校は普通科(第1回～75回)と商業科(第1回～48回)を併せて22,117名であり、それらの総数は26,171名にのぼる。
- 同窓会長は式辞で紫塚同窓会への入会歓迎のこたばを述べ、続いて年次委員10名の委嘱を行った。年次委員を代表して、渡邊康太郎(わたなべ こうたろう)君(黒羽中出身)が同窓会入会の宣誓を行った。そして新しく同窓会会員となる卒業生全員に、同窓会入会の記念として卒業証書ホルダーを贈呈した。
- また、同窓会長より益子晴成君(黒羽中出身)に紫塚奨学団賞が授与された。益子君は学業で優秀な成績を収めるとともに、部活動ではスーパーサイエンスクラブに所属し各種大会に参加した。その中でも「サイエンスキャッスル2022東北大会奨励賞」や「化学グランプリ2023支部奨励賞」を受賞するなど顕著な活躍を見せた。3か年皆勤、3年連続新体力テストA段階を取るなど健康面、体力面でも目を見張るものがあり文武両道を体現した。難関国立大学の理学部に進学し今後の活躍が大いに期待できる生徒である。

第122回創立記念式典

日 時：令和6(2024)年4月19日(金)
会 場：大高体育館
参加者：池嶋会長以下役員、生徒、教職員

- 在校生、教職員、同窓会役員が列席し、厳かな雰囲気の中第122回創立記念式典が挙行された。
- 式典後、宮腰 建氏(高65回、Spiber Inc.Material Division)による記念講演があった。演題は「学生時代を振り返って」。
- 午後は会場を那須野が原ハーモニーホールに移し、狂言「和泉元彌の狂言ライブ」を鑑賞した。



宮腰 建氏 (高65回)

監査

日 時：令和6(2024)年5月7日(火)
会 場：大高小会議室
**参加者：池嶋会長、副会長(財務担当)、
監事、職員**

- 大橋保・大木聡監事が監査を実施する。

第1回正副会長監事会

日 時：令和6(2024)年5月24日(金)
会 場：大高会議室
参加者：池嶋会長以下役員、学校長等

- 総会進行、役割分担について検討する。

総会・懇親会

(文責:副会長 神島仁誓)

日 時：令和6(2024)年6月1日(土)
17:00～
会 場：大田原温泉ホテル龍城苑
参加者：池嶋会長以下役員11名、常任理事・理事・会員37名、君島校長以下担当職員4名 計52名



総会の様子

- 池嶋同窓会長・君島校長の挨拶、栄転者紹介があり、栄転者にお祝い金贈呈後に、出席された尾崎宗範様(高31回)・長島重夫様(高14回)・鈴木典比古様(高16回)からご挨拶を頂戴した。

○議長に令和 6 年度十年会該当年次の野嶋諭氏(高 56 回)を選出して議事に入る。令和 5 年度事業報告及び一般会計・特別会計決算報告、令和 6 年度事業計画案・一般会計予算案が事務局の原案通り承認された。さらに返信のない常任理事・理事の扱い(会長挨拶参照)についても原案通り承認された。



ご出席なされた栄典者
手前から鈴木典比古氏、長島重夫氏、尾崎宗範氏

- 報告事項では第 122 回創立記念式典講演者、常任理事及び理事の変更・追加について事務局からの報告があった。
- 支部報告が二件あった。首都圏紫塚同窓東京会より桑原裕会長(高 10 回)、宇都宮紫塚同窓会より高久均会長代理(高 22 回)から近況報告があった。
- なお総会後に同所において懇親会があり、旧交を温めることができた。出席者は 30 名であった。

〈総会出席年次〉

高 10 回・11 回・14 回・16 回・20 回・21 回・22 回・24 回・26 回・28 回・29 回・30 回・31 回・32 回・35 回・37 回・40 回・43 回・45 回・47 回・51 回・56 回・64 回・66 回

浅香法律事務所
 弁護士 室井 淳男 (昭和 55 年卒)
 栃木県大田原市浅香 2 丁目 3390 番地 1
 TEL 0287-23-8203

弁護士法人エース
 弁護士 室井 涼 (平成 25 年卒)
 東京都中央区銀座 6-3-9 銀座高松ビル 901
 TEL 03-6625-4140

ISO-9001・ISO-14001 認証取得

O.A.P.E. 総合設備業

大橋総設工業株式会社
 代表取締役 大橋 保 (高 29 回)
 常務取締役 大橋 知明 (高 59 回)
 〒324-0057 栃木県大田原市住吉町 2-4-24
 TEL 0287-23-3100 (代) FAX 0287-23-3102

税理士法人 **荻原会計事務所**

税理士 荻原 智光 (高 29 回)
 税理士 荻原 秀幸 (高 31 回)

〒324-0036 大田原市下石上 2109-3
 TEL 0287-29-0179 FAX 0287-29-1726

ALSO

北関東総合警備保障(株)
 警備のことならお気軽にお電話ください。

代表取締役会長 青木 勲 (高 9 回)
 常務取締役 高久 均 (高 22 回)
 宇都宮市不動前 1-3-14 TEL : 028-639-0300 (本社)

車田 医院

車田 孝夫 (高 3 回卒)
 車田 宏之 (高 32 回卒)

栃木県大田原市大豆田 457-24
 TEL 0287-54-0062

お任せ/下さい

1日1組家族葬

つむぎ 大田原店
 西那須野店

(高 52 回)
 厚労省認定協会 1 級葬祭ディレクター
 代表 関口 将仁

[24 時間 365 日対応] ☎ 0120-33-8871

首都圏 **紫塚同窓東京会**

会長 桑原 裕 (高 10 回)

事務局 〒146-0085
 東京都大田区久が原 2-20-23 306 今泉 薫方
 携帯電話 090-4833-6873
 URL <http://www.purple-tokyo.sakura.ne.jp/>
【新入会歓迎】 上記宛ご連絡ください。

総合建設業 since 1884

那須土木株式会社

代表取締役会長 玉木 茂 (高 20 回)
 代表取締役社長 玉木 勇介 (高 52 回)

取締役黒磯支店長 関谷 悟 (高 35 回) 住宅事業部長 矢吹 博司 (高 46 回)
 総務部次長 桑名 知久 (高 37 回) 総務課長 代理 郡司 康雄 (高 45 回)
 住宅事業部住宅営業課長代理 山村 俊彦 (高 26 回) 技能部 手塚 伸一 (高 34 回)

本社/栃木県大田原市中央 1-13-10 TEL 0287-23-5678 (代) FAX 0287-23-0355
 URL <http://www.nasudokk.com>

◆◆令和5年度一般会計決算報告◆◆

○収入【単位：円】

前年度繰越	5,690,489	繰越金
入会金	2,230,000	入会終身会費
寄付金	208,000	寄付金
雑収入	294,253	会報広告費・利息等
合計	8,422,742	

○支出

創立記念費	77,350	講師謝礼等
総会費	125,260	案内葉書等
十年会費	361,220	案内状郵送費等
霜月懇和会費	82,366	
広報費	798,868	印刷・郵送費
卒業褒賞補助	100,000	証書ホルダー代
母校活動補助	595,575	母校教育活動補助
支部会等補助	370,000	支部会への補助
慶弔費	20,000	祝金・香典等
餞別費	70,000	教職員への餞別
旅費	184,835	交通費
会議費	2,140	会議等経費
通信費	28,544	案内葉書等
消耗品費	453	消耗品費等
雑費	14,972	郵便振替手数料
予備費	0	
合計	2,831,583	

◆◆令和5年度特別会計決算報告◆◆

収入額	11,752,054	繰越金、利息
支出額	0	
現在高	11,752,054	

◆◆日光杉並木保護基金◆◆

日光杉並木オーナー	10,000,000
-----------	------------

◆◆令和6年度事業計画◆◆

(前出の事業は除く)

10・1月	正副会長監事会
11月16日(土)	霜月懇話会
2月下旬	常任理事会
2月28日(金)	同窓会入会式(高76回)

◆◆令和6年度一般会計予算◆◆

○収入

前年度繰越	5,591,159	繰越金
入会金	1,980,000	入会終身会費
会費	10,000	会員終身会費
寄付金	10,000	寄付金
雑収入	300,000	会報広告費等
合計	7,891,159	

○支出

創立記念費	150,000	講師謝礼等
総会費	150,000	案内葉書等
十年会費	450,000	案内状郵送費等
霜月懇和会費	80,000	案内状郵送費等
広報費	800,000	印刷・郵送費
卒業褒賞補助	100,000	証書ホルダー代
母校活動補助	600,000	母校教育活動補助
支部会等補助	500,000	支部会への補助
慶弔費	130,000	祝金・香典等
餞別費	100,000	教職員への餞別
旅費	250,000	交通費
会議費	20,000	常任理事会経費
通信費	140,000	案内葉書等
消耗品費	20,000	消耗品費等
雑費	30,000	郵便振替手数料
予備費	4,371,159	
合計	7,891,159	

◆◆栄典者・功労者◆◆

令和5年度

○秋の褒章

尾崎 宗範氏(高31回) 藍綬褒章

○秋の叙勲

渡辺 喜美氏(高22回) 旭日大綬章 高久 健二氏(高10回) 旭日単光章

長島 重夫氏(高14回) 瑞宝小綬章 星田 宗良氏(高8回) 瑞宝小綬章

○危険業務従事者叙勲

郡司 勤氏(高21回) 瑞宝双光章 鈴木 博久氏(高21回) 瑞宝単光章

○高齢者叙勲

福田 武徳氏(高6回) 瑞宝双光章 豊島 悟郎氏(高6回) 瑞宝双光章 古山 正氏(高6回) 旭日単光章

加藤與士夫氏(高6回) 瑞宝双光章 羽柴 雅男氏(高6回) 瑞宝双光章 小室 正吾氏(高8回) 瑞宝小綬章

令和6年度

○春の叙勲

鈴木典比古氏(高16回) 瑞宝中綬章 大宮司敏夫氏(高25回) 瑞宝双光章 村井 憲一氏(高12回) 瑞宝双光章

○危険業務従事者叙勲

中三川邦幸氏(高21回) 瑞宝単光章

○高齢者叙勲

吉沢 英道氏(高7回) 瑞宝双光章

◆◆令和6年度支部総会等◆◆

○紫塚同窓東京会役員会：7月27日(土)

品川プリンスホテル

○県庁紫塚同窓会総会：10月25日(金)

ニューみくら

○紫塚同窓東京会総会：11月9日(土)

品川プリンスホテル

○宮城支部総会：10月5日(土)

東四芋煮ガーデン

○近畿紫塚会総会：10月26日(土)

琵琶湖ホテル



池嶋会長挨拶



君島校長挨拶

総会・懇親会の様子



第2回正副会長監事会

日 時：令和6(2024)年7月19日(金)
会 場：大高小会議室
参加者：池嶋会長以下役員、学校長等

○十年会の運営についての検討を行った。

第3回正副会長監事会

日 時：令和6(2024)年11月1日(金)
会 場：大高小会議室
参加者：池嶋会長以下役員、学校長等

○霜月懇話会の運営についての検討を行った

第71回十年会

日時：令和6(2024)年8月17日(土)
会場：大田原温泉ホテル龍城苑
参加者：高16,26,36,46,56,66回会員、恩師
池嶋会長、学校長以下役員、教職員

- 第71回十年会を開催するにあたり、5月14日、7月19日の2回にわたり、10年会該当年次の代表役員等（常任理事、理事等）にお集まりを頂き、検討を重ね、10年会当日は、恩師10名を含む総勢126名の参加を得て開催することができ、厚く御礼申し上げます。
- 今年の10年会の特徴としましては、初めての10年会の該当年次の66回の参加者が27名（該当年次参加者総数103名）で、一番多かったことと、懇親会時に溢れるばかりのエネルギーなパフォーマンスには、ビックリしましたが、同時に、大高同窓会の明るい将来が垣間見えた気がしました。
- 以下に、参加者の感想を掲載します。

「卒業60年目の十年会(最後の十年会)報告」

須田 耕永（高16回）

まだまだ先のことだと思っていたら、もう最後の十年会になってしまった。出席者は22名。もう少し出席者を増やすことも出来たのだが、会場の広さの都合があって、これ以上増やせないとのこと、非常に残念であった。

卒業して60年、まだ現役で働いている人、悠々自適の生活を送っている人など様々であるが、懐かしく大高在校中のことや近況等を語り合っているうちにあっという間に予定の2時間が過ぎてしまった。散会するのが名残惜しく、「80才までは同級会をやるう」等と言っている人もいた。



我々の学年は、1945年4月から1946年3月まで、即ち終戦の年から翌年3月までに生まれた人たちで、生徒数は最低の学年であった。そんなわけで中学卒業までは比較的のんびりとした学校生活であったが、大高に入学するや「大高は、以前は東大何人、東工大に何人等、一流大学に大勢合格したが、今は・・・」などと発破をかけられ、学習内容も急

に難しくなり、進度も速くなり、朝から晩まで授業・課外でしごかれ、大変な大高3年間であった。

お陰で、学者になった人、医者になった人、芸術家になった人、サラリーマンになった人、自分の家を継いだ人、会社を興した人等様々であるが、それぞれに応じて、存分に活躍し、社会に貢献出来たのではないだろうか。

人生100年時代、まだまだあと20年、30年、積極的に物事に挑戦し、悔いのない人生を送りたいものである。

終わりに、母校大高には「栃木県北の雄」、それどころか、「栃木県の雄」、いやそれ以上に成るべく、頑張ってもらいたい。

五回目の十年会

川上 明男（高26回）

令和6年8月17日は私たちにとって五回目の十年会でした。卒業して早50年、時の流れの速さに感慨深いものがありました。

5時過ぎに会場に着き、受付をすませ指定されたテーブルに向かうとその周りには懐かしい友の顔がずらり。机を並べて勉学に励んだ友や、休み時間や放課後に熱く青春を語り合った友、更には卒業以来初めて会う友の姿もありました。

会は写真撮影から始まり、同窓会長や校長先生から母校の現状の説明を受け、乾杯後歓談が始まりました。21名の参加者の中には既に悠々自適な人や、今でも現役バリバリで頑張っている人など様々でしたが、皆とても明るくすごくパワフルでした。私もその仲間たちから力をもらいとても嬉しかった。その後元応援団長だったという後輩たちによる演舞が披露され、なぜかフンドシ姿も見られましたが、いかにも大高らしいと妙に納得。最後に全員で声高らかに校歌斉唱、決して忘れることのない「———質素堅実」のフレーズには思わず涙が出そうになりました。

今回は私たちにとっては最後の十年会。それではいささか寂しいので、20年後も30年後も参加したいと思える楽しい十年会でした。後期高齢者になっていますが、健康には十分注意して十年後元気にお会いしましょう！！

高36回

海老澤 康雄（高36回）

令和6年8月17日、大田原温泉ホテル龍城苑にて行われた第71回十年会に参加しました。還暦を間近に控え、恩師の先生方に近況を報告しようと、同級生とともに参加させていただきました。渡辺先生、刑部先生をお迎えすることができ、久しぶりの

再会に胸が躍る 2 時間となりました。恩師のお二人とも、社会教育や学校教育の分野で御活躍を続けることを知り、勇気と元気を頂きました。お二人の今後の御健康と御活躍を心よりお祈り申し上げます。

同級生との会話では、卒業記念品として頂いた下駄やネクタイピンの話題で盛り上がりました。今もなお大切に保管している同級生が多く、母校に対する熱い思いが現存することも分かち合うことができました。40 年ぶりに歌った校歌も気付いてみれば全員が熱唱していました。10 年後はより多くの同級生に声をかけ、大高に対する熱い思いを確認し合いたいと思います。

十年会の実施に際し、御尽力くださった皆様に深く感謝申し上げます。大変ありがとうございました。



高 46 回

政本 憲蔵 (高 46 回)

第 71 回十年会は、令和 6 年 8 月 17 日に大田原温泉ホテル龍城苑にて開催された。コロナ禍前の十年会には会えなかった同級生とも約 30 年ぶりに再会し、それぞれが 30 年間歩んできた道を振り返りつつ近況を報告し合う時間であった。学生時代の面影を残しながらも、研究者、自営業、自治体、メーカー、医療従事者、教育者など、多様な分野で活躍する姿に触れ、かつてのライバル関係は、今では互いの成功を心から称えるものへと変わっていた。二次会では、仕事や家族の話題から離れた不真面目な話題でも笑い合える時間を持てたことこそ、同級生ならではの貴重な関係であったと実感。次回の十年会は、還暦に近い年齢での再会となるが、その時には今よりも誇れる自分でありたいと思う。この後の人生後半戦も、全力で駆け抜ける覚悟である。同窓生と過ごす時間、その何気ない一瞬こそが、まさに人生の宝物なのかもしれない。

高 56 回

室井 和也 (高 56 回)

今回初めて十年会に参加しました。ほとんどの人とは卒業後 20 年ぶりの再会でしたが、しばらく話していると当時の面影や出来事などがよみがえってきて、楽しい充実した時間を過ごすことができました。私たちの代の参加は 8 名と少なかったですが、

恩師の参加は 5 名と最も多く、当時の授業や HR でのエピソードなどの思い出を先生方を交えてたくさん話すことができました。坂本禎之先生、屋代良広先生、河上恵太先生、伊藤和夫先生、高戸和宏先生、ご多忙の中ご参加いただきありがとうございます。最後に全員で校歌を合唱した際は、当時と同じように大きな声が自然と出てきて、歌いながら感動し鳥肌が立ちました。仕事や子育てなど何かと忙しい世代ではありますが、10 年後より多くの同期と再会できるのを楽しみにしています。また、これまで同窓会に関わることがほとんどなかった私ですが、これを機に同窓生との繋がりを広げ深めながら、微力ではありますが母校を応援していきたいと思うようになりました。創立以来の長い歴史の中で培われてきた独自の人間教育に加えて、ICT 活用や SSH の取組みなど時代や世の趨勢・要求を見極め柔軟に対応する母校の様子を校長先生から拝聴し、発展する大高を感じることができました。さらに 10 年後の母校の姿がとても楽しみであると同時に、同窓生・県民、また子をもつ親としてその姿には責任も感じました。



「初めての十年会」

清水 大資 (高 66 回)

大高を卒業して早十年。この間にも世界は自然災害や戦争、コロナ禍、AI 技術の進歩など目まぐるしい変化を遂げてきました。

そういった状況下で十年ぶりに顔合わせした仲間達はみな懐かしく感じられ、一瞬にしてあの頃にタイムスリップさせられました。お互いの近況を語り合い、恩師の磯先生、佐藤先生との思い出話に各々が花を咲かせ、あっという間に二時間が経過してしまいました。

何と言っても今回のハイライトは同期の後藤君による我々の卒業記念品である「紐付き手ぬぐい」着用の演舞でしょう。この表現で当日の様子が想起された方はおそらく次の十年会まで忘れないと思います。改めて個性豊かな仲間達を誇りに思います。

最後に、ご多忙の中、十年会開催にあたりご尽力賜りました同窓会関係者の皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。



池嶋会長挨拶



君島校長挨拶



恩師代表挨拶
渡辺光男先生



乾杯の音頭
植田勝氏 (高16回)



恩師の方々
右より
【敬称略】
磯 仁
(66回恩師)
佐藤陽太
(66回恩師)
高戸和宏
(56回恩師)
伊藤和夫
(56回恩師)
河上恵太
(56回恩師)
屋代良広
(56回恩師)
坂本禎之
(56回恩師)
神島仁誓
(46回恩師)
渡辺光男
(36回恩師)
刑部 節
(36回恩師)



懇親会の様子



全員で校歌斉唱



万歳三唱 音頭：岡野守氏 (高26回)

各支部の活動

4 年ぶりに同窓会総会を開催

宇都宮紫塚同窓会（青木勲会長、高 9 回卒）は、ここ数年、コロナ禍の影響を受けて会員交流の場を持つことができませんでしたが、徐々に感染も落ち着いてきたこともあり、今年は去る 3 月 21 日、宇都宮市不動前の北関東総合警備保障株式会社のホールをお借りし、実に 4 年ぶりに総会と懇親会を開催しました。



総会には、年度末でご多忙中にもかかわらず、大田原高等学校の君嶋芳一校長先生並びに紫塚同窓会の池嶋英哲会長様にご臨席いただき、会員も 20 名が参加しました。

冒頭青木会長は、4 年ぶりに宇都宮紫塚同窓会が開催できたこと、そして会員の皆さんの元気な姿に接することができたことに感謝したうえで、「これからも元気な日々を送っていこう」と挨拶しました。

また君嶋校長先生からは大田原高校の近況、池嶋会長様からは、紫塚同窓会の活動報告があり、各会員も母校の今昔に思いを馳せ、目を輝かせていました。

議事は、決算、予算、役員改選といずれも原案どおり承認され、総会の後は、恒例の懇親会。会員の皆さんも食事と飲物を口にしたこともあって、ようやく和みを見せ、活発に意見交換が行われました。

楽しい歓談もあつという間に過ぎてしまい、最後に月井昇一さん（高 4 回卒）の奏でる恒例のハーモニカの伴奏に合わせ、ご来賓、会員と一緒に声を張り上げ「大高校歌」を歌って大いに盛り上がったひと時となりました。

栃木県庁紫塚同窓会

会長（栃木県農政部次長）杉井 拳（高 36 回）

県庁紫塚同窓会は、大田原高校出身の県庁職員 233 名で構成している同窓会で、庁内でも規模の大きな同窓会の 1 つとなっており、年に 1 度の総会のほか、大田原市職員との懇親会を開催するなど積極的に活動しています。

直近の総会については、令和 5 年 10 月 27 日、宇都宮市のニューみくらで開催いたしました。

来賓として大田原高校校長の君島様、紫塚同窓会長の池嶋様、首都圏紫塚同窓会東京会長の桑原様をお迎えし、また、顧問として県議会議員の関谷様、山口様、星様、大田原市長の相馬様、矢板市長の齋藤様の御参加をいただきました。



また、近年では、総会に県庁内の大田原女子高出身者にも御出席いただき、県庁大高・大女高出身者交流会を兼ねる形で開催しており、総勢 41 名での開催となりました。

参加者一人ひとりの自己紹介を兼ねたあいさつを行うなど交流を深め、大いに盛り上がりました。

今後も引き続き、会員同士の交流を深めて参りたいと思います。

近畿紫塚会の近況

会長 齋藤 文夫（高 18 回）

近畿紫塚会は秋に総会・懇親会を開催しており、大阪、京都、滋賀、奈良、神戸と巡り今年 10 月 26 日に第 87 回目を琵琶湖畔のホテルで開催します。平成 7 年の阪神淡路大震災を契機に大女高の千草会近畿支部と合同で開催しています。

会員は 60 名程で旧制中学の先輩も元気に名を連ねております。学生 15 名は少々寂しさを感じます。交通、通信の進歩著しい昨今ですが母校と近畿の間に首都圏の大きな壁を感じます。東海、近畿にも進学の見込みを広げてほしいものです。

昨今近畿紫塚会の幹事メンバーも 40、50 歳代が多数に若返りました。現職ゆえの転勤や管理職化など難しさもありますが、SNS の活用で学生、院生や若手 OB との交流を図ることなどで会活動の活性化を目指しています。

先ごろ卒業生の「U 字工事」が母校を訪問する TV 放映があり、始まるとすぐに LINE グループ「紫塚・千草会」上に『懐かしい』『大高の中庭って広いのね』等の会話が飛び交いました。私たち遠隔地の同窓生は母校の動向、話題に常にセンサーを向けて過ごしているものです。

近畿には甲子園、駅伝、カルタ戦などの大会の会場があります。その際は全力応援をお約束します。

首都圏紫塚同窓東京会近況報告

東京会会長 桑原 裕 (高10回)

2020年正月以来、何かにつけコロナ感染が前提で諸行事が制限され、あるいは活動方式が変わる中で、東京会は、いろいろ工夫しながら懸命に活動してきました。即ち、諸行事の中止やZOOMによるWeb総会などで工夫を凝らし、この状況に前向きに対応してきました。令和4年に漸く念願のface-to-faceの総会が叶い、成功裏に普通の会合ができました。もちろん食を伴う懇親会もできました。皆さん大喜びでした。

そして、昨年(令和5年)11月11日は、face-to-faceで、コロナ前と同じ普通の総会・懇親会を開催いたしました、恒例の講話として、今井守夫会員(25回卒)の歯科に係る普通聞けないことや、モンゴルでの活動について、とても蘊蓄のある楽しい話を聞くことが出来ました。また、大女高同窓会千草会東京支部の方々にも来賓としてご出席いただきました。出席総員は59名で、コロナ後でしたので、皆大喜びで、記念すべき東京会発会70周年は大いに盛り上がりました。ただ現状では年齢層が高いので、これから大いに若い会員を増やしていきたいと思えます。

ゴルフも令和5年5月から再開し、同6年5月17日に、いつもの千葉県市原市の素晴らしいゴルフ場で開催しました。17名が参加しました。

会報「むらさき」は、コロナ禍でも順調に発刊しました。令和6年10月1日に第24号が刊行できました。これは、東京会の会員をつなぐ素晴らしいコミュニケーションの場となっています。

諸会議も順調に開催してきました。時々東京会の事務局会議(丸の内で開催)を開催して、総会の準備、夏の理事会・役員会の前準備など、常に忌憚のない話し合いをしています。いつも活発な意見が出ています。東京会は、「未来に向けて前向きに歩むことにいささかの、揺るぎもない」と確信しています。また、今年は、会則改正、役員改正の時期になっていますので、しっかり審議しています。



総会記念写真 令和5年11月11日 東京。
品川プリンスホテル

紫塚同窓会宮城支部総会の報告

紫塚同窓会宮城支部は、10月5日(土)に総会と称して芋煮会を開催しました。若い学生さんたちを誘うのを目的とした芋煮会でしたが、残念ながら学生さんの参加者はなく、宮城支部の、大出、鈴木、田代と君島校長先生、池嶋同窓会会長の5名で開催しました。スーパーサイエンスハイスクールの活動、85km強歩など、大田原高校の活発な活動を知ることができました。また共学化の議論があることも教えていただきました。宮城支部の活動については、もっと学生さんを勧誘するべく早めに連絡をする、電話連絡も取り入れるなどのアイデアを話し合いました。

なお、強歩大会は仙台一高でも行われており、距離は秋保までの42kmです。大高の強歩大会は本当に大したものだと思います。



医療法人社団 亮仁会
那須中央病院

同仁施設長	野崎治重(高25回)	健診センター課長	桜岡邦彦(高41回)
同仁苑課長補佐	大島 格(高42回)	循環器内科部長	轟 正勝(高43回)
整形外科部長	小島正博(高45回)	歯科技工室主任	板橋広喜(高46回)
理学療法士	郡司 優(高61回)	診療情報管理士	遠山亮太(高64回)
歯科技工士	渡辺育也(高68回)	理学療法士	稲田有希(高75回)

〒324-0036 栃木県大田原市下石上 1453 TEL 0287-29-2121 (代)
<https://www.nasuchuoh-hospital.jp>

医療法人 大田原厚生会
室井病院

理事長 室井 尚武

〒324-0042
栃木県大田原市末広 1-2-5
TEL 0287-23-6622 FAX 0287-23-7825

母校の近況

寒稽古

日 時：令和 6 年(2024 年) 1 月 15 日(火)
～19 日(金)

- 共通テスト後の 1 週間。朝 6 時 30 分から 7 時 20 分まで、7 キロの耐寒マラソンを実施した。最初の 4 日間は、校内に設けられた 1 km のコースを 7 周したが、特に 2 日目は、前日に降雪があったため、新雪の上での寒稽古になった。最終日は校外に出て、ポッポ通りコースを走った。
- 参加者数は日によって変動したが、全生徒 570 名のうち、毎日 360 名以上（最終日は 408 名）の生徒が参加した。初日（15 日）には下野新聞およびとちぎテレビの取材を受けた。体育の授業では、12 月から長距離走の練習を行い、寒稽古に備えた。



令和 5 年度卒業式

日 時：令和 6 年(2024 年) 3 月 1 日(金)
会 場：大高第一体育館

- 3 月 1 日、高校第 76 回卒業式が挙行され、198 名の卒業生が紫塚の学び舎を巣立っていった。卒業証書受領総代は、東京大学に進学した栗田秀雅君（東那須野中）が務めた。



- 答辞は、生徒会長をつとめた佐藤元紀君（三島中）であった。答辞の中で「三年前、期待と不安を胸に、この体育館で入学式に臨んだことが昨日のように思い出されます。その日以来、文武両道を目指し、仲間と切磋琢磨してきました。また大高で

の様々な行事が私たちの学校生活を豊かなものにしてくれました。沖縄への修学旅行、初めての強歩、コロナ後の大高祭、極寒での寒稽古。こうした経験が私たちに精神的、肉体的な成長をもたらしました。一方大高は二〇一九年以來スーパーサイエンスハイスクールの指定を受けており、一年次より課題研究に取り組み、自分と社会とのつながりを意識し、物事を多面的に捉える視点も持つことができました。大高の校訓「質素堅実は表面を飾らず、内面を磨く」という意味です。私たちはこの三年間、学習をはじめ部活動や課題研究などに、弛まぬ努力をしてきました。県北の雄と称されるここ大高で、友と競い、笑い、時に悔し涙を流した日々は一生の宝物です。これからも心と背中に刻まれた「質素堅実」の四文字のもと、なりたいたい自分になるために、己を信じ、磨き続けて参ります。」（要約）と述べた。



令和 6 年度入学式

日 時：令和 6 年(2024 年) 4 月 5 日(金)
会 場：大高第一体育館

- 4 月 5 日、高校第 79 回入学式が行われた。新入生は期待と不安の入り交じった表情であったが、担任の呼名に元気よく大きな声で返事をし、起立した。そして全員呼名後、校長から新入生 201 名の入学が認められた。代表宣誓は益子蓮桜君（金田北中）であった。



第36回85キロ強歩

日時：令和6年(2024年)5月15日(水)
16日(木)

○昨年は途中大雨になり、大高から22キロの地点で中止になった。今年こそは85キロを完歩するぞ！という意気込みの中、85キロ強歩が始まった。在校生の中に85キロを経験した生徒がない中、模索しながらの強歩である。5月15日9:48、557名の生徒がスタートラインに立った。気温22度、天候は晴れ。強歩日和である。しかし鳴内あたりから雨が降り出し、夜通し降った。カッパをまといながらの歩行が続いた。雨の中、やっとたどり着いた黒磯北中。中学校のご厚意で体育館を使うことができた。夜食はカップラーメン。生徒曰く「人生で一番うまかったカップラーメン」。多くの生徒が雑魚寝してしばし仮眠をとっていた。ここでリタイヤする者が多く、輸送の対応に混乱が生じるほどであった。

○完歩率は73.6%であった。途中から雨が降り出したことが完歩率低下の要因と考えられる。しかし数年ぶりの85キロは、生徒達にとって貴重で忘れ得ない経験となった。



85キロ強歩に参加して

3年5組7番 金子 尚玄

今年が初めて最後の85km強歩。私は絶対に完歩してみせると意気込み、ワクワクしながらも少し緊張しつつ歩き始めました。

私は今回の強歩を通して学んだことが2つあります。

一つ目は精神力です。強歩は精神力の戦いであると私は思います。35km地点の関門を過ぎ、明かりは僕らのヘッドライトのみ。山道で足場が悪い上に雨で空気も気持ちよくない。なにより足が痛く、休みたくて仕方がない。このような環境の中で歩き続けるのは、運動神経の良さだけではどうにもなりません。絶対に完歩すると思い続け、絶対に前の人から離されないように歩きます。頭の中では、リタイヤする理由を考え続け、休憩で休むたびにあまりの辛さで泣きたくなくなってきます。諦めようと思った途端、足が止まってしまいそうでした。本当に、本当に精神力との戦いでした。

二つ目は、心から、応援に対して感謝する気持ちです。私は、今までの人生を通して心から応援に喜びを感じたことはありませんでした。強歩をして一番辛かったのは夜食までの時間でした。この時ばかりは、本当に泣きそうになっていました。その関門に着くと、ものすごい励ましの言葉と夜食。私はカップヌードルがあまり好きではありませんでした。でもこの時ばかりは、世界一うまい食事をしている気分でした。食事に人の温かみが出るのが本当にあるのだと知りました。その後は、応援の保護者の方の励ましの言葉が、唯一の救いとなりました。あと10kmになったとき、私の死んだ魚のような目と姿を見た、おじいちゃん、おばあちゃんが覗き込むように応援。そこから10kmは涙を我慢するだけの戦いでした。本当に地域の方々、先生、親、友達に心から感謝しました。ありがとうございました。

第 57 回大高祭

日 時：令和 6 年(2024 年) 8 月 31 日(土)

○ 8 月 31 日(土) に第 57 回大高祭の一般公開が行われた。この日は 9:30 から 15:00 まで公開され、来場者数は 1899 名。直前まで雨が降っていたため、駐車場は校庭から旧土木事務所駐車場になり、誘導も大変であった。万歳同盟やウォーターボイズなど、大高を代表するパフォーマンスに加え、多くの仮店舗で賑わいを見せた。お昼時は長蛇の列であった。万歳同盟のパフォーマンスの後には胴上げや水かけが行われ大高祭は大いに盛り上がった。

熱波

大高祭実行委員長 西田 遥紀

今年の大高祭は最高のものだったと胸を張って言えるでしょう。天気予報では雨予報が出続けていたにも関わらず、大高生の熱波で雨雲を潰したのは圧巻でした。私たちの熱は天候などの自然にも負けないのです。そんな天気から始まった開会式から閉会式まで楽しすぎて記憶が飛んでいった人も少なくないでしょう。普段勉強から追われ、頭がおかしくなりそうなところを程よくリフレッシュさせてくれるこの行事はとて有難いものです。コロナウイルス等の感染症が無くなり、200%の力を出すことができた今年の大高祭は青春そのもので、貴重な経験になりました。その中でも、忘れてはいけないのが先生方、保護者、地域の方々の協力があり、大高祭を実施することができました。本当にありがとうございました。来年の大高祭もより良い熱波を放つことを期待しています。



与一踊り 準優勝に輝く

日 時：令和 6 年(2024 年) 8 月 3 日(土)

○この日は大田原の与一祭りの2日目。大高、大女、黒磯高、アジア学院の有志達 60 名以上が1つのチームになり、夕方から始まる与一踊りに参加した。チーム名は「大高大女黒高アジア学院国際合同チーム」。大高の校長がプラカードを手に先導。踊りの前列には、本校同窓生のU字工事のお二方が踊り、踊りを大いに盛り上げた。参加した高校生はもちろん、アジア学院の留学生も、初めて経験する日本の祭りや踊りを経験することができ、貴重な経験をすることができた。この日、与一踊りには約 30 チームが参加したが、我がチームは準優勝に輝き賞金をいただいた。

○この行事はそもそも 7 月 19 日にアジア学院との国際交流会が行われ、アジア学院の留学生、大田原女子高、黒磯高の希望者が本校に集まり、国際交流が行われたが、この日はその2回目の交流会として企画されたものである。生徒達は英語で会話をし、日本の文化を紹介し、一緒に踊る等、国際的視野を広げる貴重な体験をすることができた。



SSH事業

【スーパーサイエンス・ハイスクール】

○令和6年度より5年間、文科省のSSH(スーパーサイエンス・ハイスクール)事業のII期目指定。SSH事業は、先進的な科学技術、理科・数学教育を通じて、生徒の科学的能力や、科学的思考力等を培うことで、将来社会を牽引する、科学技術を有した人材を育成するための取り組みである。計画している事業の内容と令和6年度SSH生徒研究発表会のポスター発表原稿を次に示す。

SSH (スーパーサイエンス・ハイスクール) 事業

- (1) 研究開発課題名：グローバルな視点と総合知の活用により創造性を育む文理融合型課題研究の開発
(2) 研究目標：学際的かつグローバルな視点を意識した文理融合型課題研究に取り組むことで、課題発見・解決能力、統計・データ処理能力、プレゼンテーション能力、創造的思考力、批判的思考力等を育み、国内外を問わず科学技術分野やDX分野等で新しい価値を創造・発信できる人材を育成する。

(3) 研究開発の概要：

- ①「課題研究プログラム」では、文理融合型課題研究にグループやゼミで取り組み、協働力を高め、科学に関する資質・能力を養う。
②「科学技術人材育成プログラム」では、国内外の大学や研究機関と連携し、より高度な科学に触れ、本校生のみならず他校生も含めた参加生徒が、科学に関する資質能力を高め、国内外を問わず科学技術分野で新しい価値を創造・発信できる能力を養う。
③SSH事業全体のPDCA化と評価法の開発により、事業の改善に努める。また、生徒の資質・能力の変容を的確に捉える評価法について研究開発を行う。

(4) 具体的な取り組みの概要

- SS探究(総合的な探究の時間)にて、1年次より「課題研究プログラム」に取り組む。各種講義を受講した後に研究分野とグループを決定し、後半は班別研究を実施する。2年次により発展的な課題研究活動に取り組む。3年次には英語による発表と、論文作成に取り組む。
○科学系部活動にて、一般参加の生徒も募り、各種コンテスト、講座、校外活動等を充実させる。
○地域へのSSH事業の普及や、国内外の高校等との連携を深める。

建築家からの提案 「人と環境にやさしい建物」
有限会社 和泉設計
代表取締役 和泉卓哉(高22回)
〒329-2703
栃木県那須塩原市槻沢 322-9
TEL 0287-37-4871
FAX 0287-37-4872
http://www.izumi-architects.com/

宇都宮紫塚同窓会
会長 青木 勲(高9回)
事務局 〒320-0833
宇都宮市不動前 1-3-14
北関東総合警備保障(株)内
TEL:028-639-0300
FAX:028-639-0397

近畿紫塚会
会長 斎藤文夫(高18回)
副会長 中山幸蔵(高17回)
村田一夫(高22回)
事務局 〒593-8328
大阪府堺市西区鳳北町6-335-2
森 重恭(高34回)
TEL090-4293-7361
mppi435552@maia.eonet.ne.jp

各種自動車販売・民間車検・石油類販売
(有)小浦モーターズ
小浦道夫(高27回)
小浦敏夫(高31回)
本社 大田原市佐久山2208
佐久山SS TEL 0287-28-0016
実取SS TEL 0287-28-0480
車検センター TEL 0287-36-5338

宗 教 法 人
大田山光真寺
住職 黒田泰弘(高35回)
〒324-0051
栃木県大田原市山の手 2-11-14
TEL 0287-2 2-2 0 3 3

郷土と母校の発展に書籍で貢献
本を通じて自由と幸せをお届けします!!
有限会社 自由書房
代表取締役 大出博友(高48回)
〒324-0051
栃木県大田原市山の手1-2-32
TEL 0287-22-2523
FAX 0287-23-8333

ビジネスホテルアジサイ BUSINESS HOTEL AJISAI
株式会社 関商事
代表取締役 関 幸一(高22回)
〒329-2763
栃木県那須塩原市井口 532-7
TEL 0287-36-8181 FAX 0287-36-4141

(有)ナルミヤスポーツ
成宮正人(高44回)
栃木県大田原市中央 2-16-15
TEL 0287-23-6668
FAX 0287-23-6437

西田整形外科医院
整形外科・リハビリテーション科
整形外科専門医 院長
西田三郎(高30回)
NISHIDA
〒324-0053
大田原市元町 1-9-18
大田原女子高校そば
TEL 0287-20-3100
ORTHOPAEDIC

SSH生徒研究発表会(神戸大会) 生徒投票賞 受賞



最高の信号機を作る

栃木県立大田原高等学校 SSH研究班

豊田 晃基 糸井 駿太郎 津久井 辰徳 中島 陸
指導教官 瀧澤 昌弘

研究背景

普段私たちは、交通機関を多く利用している。通勤、通学などに車や自転車をを使う人も多いだろう。そこで私たちが直面している交通問題の一つに「渋滞」があげられる。この問題について良い解決策はないかと考えた。

仮説

渋滞を少しでも緩和するために、車が通る量や車の速さを調節することはできない。そうではなく、信号機のタイミングや長さを調節することで、車の流れをよりスムーズにできるのではないかと考えた。今の信号機の信号をどのように改良すればよいか、またそれをどのように確認するかを、数学を使ってできるのではないかと考えた。

研究手法1 複数の信号機のタイミングを調整する

上記の仮説を確かめるため、グラフによって車の流れの数学的モデルをつくる。そのモデルからPC上で車の流れをシミュレーションするアプリをつくる。一方、信号機や車の流れを調査して、現実の車の流れをシミュレーションすると共に、より渋滞が起こらない信号機のタイミングをシミュレーションから導き出す。

1 前提

実際の車の流れは複雑で、単純化するため、いくつかの前提を定めた。

- ① 信号機の黄色は無視して赤と青のみで考える。
- ② 車の速度は一定で車間距離も一定にする。
- ③ 車の加速、減速の時間は無視し、走っているか、止まっているかで考える。
- ④ 図1のように車の流れをステップごとに前進させる。(黒のマスが車を表す。)
- ⑤ 時間は「秒」や「分」ではなくステップ数で考える。例えば図1の1段目から2ステップで3段目にいく。こうして何ステップでその区間を通り抜けるかを考える。
- ⑥ 信号の赤や青の長さもステップ数で考える。
- ⑦ 途中で車が左折したり右折することは考えない。

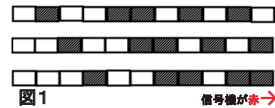


図1 信号機が赤

2 車の流れや信号の時間をグラフに表現する

(グラフによるモデル化)

例えば図2の横線は信号が赤であるところである。車は横線にぶつかると止まり、横線がなくなれば走る。

図3では、車(黒い線)は時に赤信号(横線)にぶつかりながら前進するが、赤線のように速度を調整すれば、赤信号にひっかからない賢い運転になる。しかしここでは車の速さは一定にし調節しない。当然車の数が増えると、図4のように渋滞が起こる。

例えば図4の①は2回の信号待ちですんでいるが、その後ろを走っていた②は4回信号待ちで①と大きく離れてしまう。一方③と④はいったん離れるが、また途中から一緒に走る。

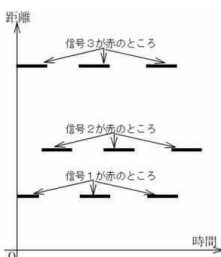


図2

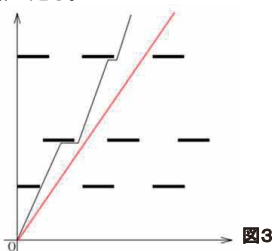


図3

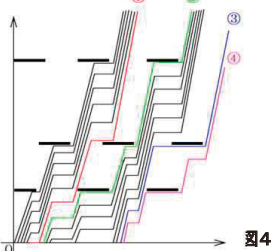


図4

3 車の流れをシミュレーションする

大田原高校前には「大高前通り」とよばれる道路があり、その通り上には3つの信号機がある。

前述したモデルの考えに基づき、エクセルのVBAを使って、この大高前通りの車の流れをシミュレーションするプログラムを作成した。

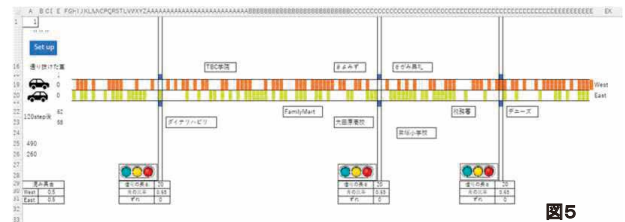


図5

大高前通りを走る車の量(割合)を入力する。例えば10マス中に7台車が入れれば確率は0.7であると考え、この値を混み具合とする。この混み具合を両車線(東向き、西向き)で入力する。

またそれぞれの信号機の赤や青の長さをステップ数で入力する。青の長さが20ならば(渋滞がなくスムーズなとき)青の間に20台の車が通過できることを意味する。

さらに3つの信号機のタイミングも入力する。例えば信号機1が赤になったら5ステップ後に信号機2が赤になり、さらに4ステップ後に信号機3が赤になる場合、信号機1には0、信号機2には5、信号機3には9を入力する。

上記を入力した後、プログラムは入力された道路の混み具合をもとに、乱数を使って道路上に車を配置する。

これ以後、ボタンを押すたびに、1ステップずつ時間を進め、入力された信号機のタイミングに従って、赤青を繰り返す。

もし車の前に車がなければ、1マス分、車を前進させ、前に車がいても、その前の車が前進すれば、同時にその後ろの車も前進させる。もちろん、信号機が赤のとき、信号機にさしかかった車は前進できない。

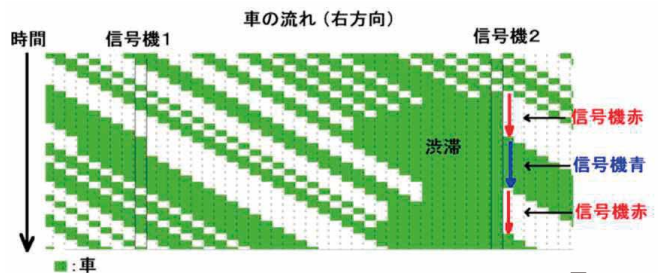


図6

図5の隣のシートでプログラムは上記のように時間軸を縦として、配置された車を、ステップごとに動かして、車の流れを計算している。先に考察した数学的モデルを、エクセル上でつくっていることになる。(図2, 3, 4では時間は横軸。)

図6では信号機2のところで渋滞が起こっていることがわかる。しかし信号が青になるたびに、車は前進して渋滞が和らいでいることがわかる。

ボタンを押すごとに、プログラムは時間ごとの車の動きを、最初のシートに反映させ、道路上を車が動いているように表示する。

当然、信号の赤青の長さやタイミングの数値を変えると、図6の様相は異なってくる。目指すは、図6のような渋滞を緩和させるために、信号の赤青の長さやタイミングの数値を変えて最良の信号機をつくることである。

4 実際に現地に行って車の台数や信号の時間を計測

それでは実際の車の流れはどうなっているのだろうか。大田原高校前の道路、大高前通りに行き、以下の項目を計測した。

- 3つの信号機の赤と青の長さ
 - 赤と青の時間をそれぞれステップ数で数えた。
- タイミング(3つの信号機が同時に青になるとは限らない)
 - 各信号機で最初に赤になるタイミングをステップ数で測定。
- 西方向と、東方向(反対車線)の道における車の混み具合
 - 車がマスの中に存在する確率を計測した。具体的には信号と信号の間に平均して車何台分の枠があって、その中に何台の車があるかを数え平均をとった。

大高前通りの信号と車の流れ (大高前通り 東側から信号機1、信号機2、信号機3)

	信号1	信号2	信号3
赤の長さ	30	18	32
青の長さ	30	42	28
赤のタイミング	0	10	20

走っている車の混み具合 西向き 0.4 東向き 0.4

表1

表1がそのデータである。このデータを先のプログラムに入力して、シミュレーションした。

結論1 信号のタイミングを変えて渋滞緩和

図7左は上記の調査をもとに、現実の車の流れをシミュレーションしたものと、図7右は各信号のタイミングを表2のように調節した上で、シミュレーションし、信号付近の渋滞を緩和させた場合である。

図は一部になっているが、各信号機のところで、渋滞が少し緩和されている。また、反対車線同様に軽減された。仮説で述べた、「信号機を調節することで、渋滞がある程度緩和される」ことが確認できた。各信号の赤青の比率を変えず、赤青の長さを調節すればさらに改善されるかもしれない。

修正後

	信号1	信号2	信号3
赤のタイミング	0 → 50	10 → 30	20 → 5

表2



図7

研究手法2 -交差点における渋滞緩和-

これまで1本の道路に3箇所信号機があり、それらの信号機を調整することで渋滞の緩和を考えた。しかし、交差点では2本の道路が交差し、1本の道路が青のときは、他方の道路は赤である。仮に車の往来が激しい幹線道路に、車がめったに通らないあぜ道のような細い道が交差している場合、もしその交差点の赤と青の比率が1:1であれば、明らかに幹線道路の方で渋滞が起きる。

その交差点で信号機のために待つすべての車の、待ち時間の合計が最小になるように、信号機の比率を考えたい。

そのために、交差点におけるシミュレーションプログラムをつくとともに、確率の期待値の考えから、車の待ち時間が少なくなる理想的な赤と青の比率を考察する。

1 交差点における車の流れをシミュレーション

交差点での車の流れをシミュレーションするために、VBAでプログラムをつかった。単純化するために、それぞれの道の流れは一方方向(横は左から右、縦は上から下)だけになっている。

入力には各道路の車の混み具合と信号の赤と青の長さ(ステップ数)である。もちろんもう1本の道路からすれば、赤と青の長さは逆になる。ボタンを押すごとに車が1ステップ分の動き、交差点での車の動きシミュレーションできる。

このプログラムで赤と青の長さを様々なに変えて、車の待ち時間が少なくなるような、信号機にすることができる。(図8)

交差点での車の流れをシミュレーション

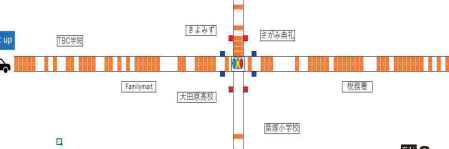


図8

2 確率の期待値から車の待ち時間を計算する

2つ道路のうち1つの道路を考える。信号が赤になる確率を S ($1 < S < 1$)、道路の1マスに車が存在する確率を r ($0 < r < 1$) とする。今、車が信号の手前 n マス目にいるとして、この車が次のステップでも止まっている確率は、その車から信号まで、すべて車が詰まっていて、かつ赤である場合であるから、 Sr^{n-1} である。さらに次のステップでも止まっている確率は、引き続き赤だから S^2r^{n-1} 。さらに次も止まる確率は S^3r^{n-1} である。以下同様に考える。

するとちょうど1回だけ待つ確率は2回以上待つ確率を引いて $Sr^{n-1} - S^2r^{n-1}$ 、ちょうど2回だけ待つ確率は $S^2r^{n-1} - S^3r^{n-1}$ となる。以下同様に考える。すると待つ回数の期待値は以下の式で表される。

$$1 \cdot (Sr^{n-1} - S^2r^{n-1}) + 2 \cdot (S^2r^{n-1} - S^3r^{n-1}) + \dots$$

$$= r^{n-1}(S + S^2 + S^3 + \dots) = \frac{r^{n-1}S}{1-S}$$

この値は n ステップ目における待ち時間の期待値だから、1ステップ目からのすべての合計を考えると

$$(1+r+r^2+\dots) \cdot \frac{S}{1-S} = \frac{1}{1-r} \cdot \frac{S}{1-S}$$

もう一つの道路で車が存在する確率を t ($0 < t < 1$) とおく。信号が赤になる確率は $1-S$ であるから、同様に考えて待ち時間は $\frac{1}{1-t} \cdot \frac{1-S}{S}$ となる。よって両方の道路での待ち時間の期待値は

$$\frac{1}{1-r} \cdot \frac{S}{1-S} + \frac{1}{1-t} \cdot \frac{1-S}{S}$$

これは S の関数である。この最小値が問題になる。

ところが相加平均と相乗平均の関係から、

$$\frac{1}{1-r} \cdot \frac{S}{1-S} + \frac{1}{1-t} \cdot \frac{1-S}{S} \geq 2 \sqrt{\frac{1}{(1-r)(1-t)}} \text{ より最小値は } 2 \sqrt{\frac{1}{(1-r)(1-t)}}$$

である。最小になるのは $\frac{1}{1-r} \cdot \frac{S}{1-S} = \frac{1}{1-t} \cdot \frac{1-S}{S}$ のときで、

$$S = \frac{r-1+\sqrt{(1-r)(1-t)}}{r-t} \text{ のときである。}$$

r と t の値の組み合わせで、最小になるときの S の値を表にまとめてみた。(表3) 例えば $r = 0.4, t = 0.2$ のとき、期待値は $S = 0.46$ のとき最小になる。またこのとき S の関数としてグラフにかくと、図9のようになる。グラフの中央部分は S が変わってもあまり変化しないことがわかる。

車の待ち時間が最小になるように、道路1の信号の赤の割合を決める

Sの最小値	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9
0.1	0.5	0.49	0.47	0.45	0.43	0.4	0.37	0.32	0.25
0.2	0.51	0.5	0.48	0.46	0.44	0.41	0.38	0.33	0.26
0.3	0.53	0.52	0.5	0.48	0.46	0.43	0.4	0.35	0.27
0.4	0.55	0.54	0.52	0.5	0.48	0.45	0.41	0.37	0.29
0.5	0.57	0.56	0.54	0.52	0.5	0.47	0.44	0.39	0.31
0.6	0.6	0.59	0.57	0.55	0.53	0.5	0.46	0.41	0.33
0.7	0.63	0.62	0.6	0.59	0.56	0.54	0.5	0.45	0.37
0.8	0.68	0.67	0.65	0.63	0.61	0.59	0.55	0.5	0.41
0.9	0.75	0.74	0.73	0.71	0.69	0.67	0.63	0.59	0.5

表3

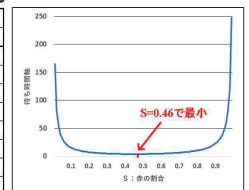


図9

結論2 信号を調整して交差点での渋滞緩和

大田原高校前の歩道橋がある交差点は信号機2のところで、前述した計測結果から大通りの赤信号になる確率は30%である。 $(S = 0.3)$ また、大高前通りの混み具合が $r = 0.4$ 、細い道で $t = 0.22$ である。しかし計算からは47% ($S = 0.47$) が方が待つ時間は少ないことを示している。そこで、シミュレーションプログラムで $r = 0.4, t = 0.22$ とし、30%の場合と47%の場合でそれぞれシミュレーションしてみた。シミュレーションからは47%の方が渋滞が起きにくくことが確認された。赤信号は表の47%の方がよいことがわかり、改良の余地がある。

まとめ

これまでの研究を通して、普段不便だと思っているだけだった信号が数学を使って調整されていることに興味深さを感じた。信号は横の信号機のつながりも考えることも重要であるが、縦の信号、つまり交差点での調整も必要である。ここではいくつかの単純化された仮定の上で、渋滞を緩和する信号機をつくることを試みた。今後は、道路を曲がる車等も考慮して現実に近い状況のもと、理想の信号機を数学を用いてつくってきたい。

参考文献

- 辻村 明日佳, 2019「車の流れを渋滞学を用いてスムーズにする方法」大阪府立高津高等学校 数学班 発表資料
- 西成活裕(東京大学先端科学技術研究センター), 2016「渋滞のサイエンスとその解消法」日本物理学会誌

紫塚キャリア探訪会

執筆者：大宮司 貴志

今年度も首都圏紫塚同窓東京会をはじめ、県庁紫塚同窓会など多くのOBの方々にご尽力いただき、「令和6年度紫塚キャリア探訪会」を実施することができた。本事業は、キャリア教育の一環として、日本全国で活躍されている本校OBと対面・オンラインで交流するものである。生徒たちは、様々な職種を知るとともに、働くことの喜びや誇り、大学や学部選択に関する助言などを先輩たちから直に学ぶことができる。そこから、働くことへの関心を高めるとともに、各職種に対する理解を深め、今後の生き方や進路計画を考える契機となる進路行事である。

今年度は、令和6年7月17日(水)、1・2学年全生徒を対象に対面・Zoom上にて実施した。高29回から高59回まで幅広い年齢、職種の方々14名に講師としてご参加いただき、生徒は自分たちが興味を持った3つの会場を訪問して、諸先輩方から話を聞くという形式で実施した。OBの方々は、仕事の内容や、人材として求められること、先輩たちの高校時代の体験談などを熱心に話してくださり、在校生にとって貴重な時間となった。生徒のアンケート結果からは、「キャリア探訪会を通して、知らなかった職業を知ることができ、進路選択の視野が広がった。」との声が多く寄せられ、生徒にとって刺激的な一日になった。

ご参加いただいた講師の方々、誠にありがとうございました。



大高外部連携人材バンク運用について

執筆者：加藤 信行

本年度より下記のとおり『大高外部連携人材バンク』の運用を開始いたしました。本校同窓会の方々にも本事業の趣旨、目的をご理解いただき、お力添えをお願いできればと考えております。

なお、ご入力いただいた個人情報に関しましては、本校の教育活動においてのみといたします。課題研究の指導助言やご講義等のご協力をお願いする場合、こちらから連絡させていただきます。よろしくご申し上げます。

1. 趣旨

SSH事業I期では、大学・研究施設等の外部機関及び本校同窓会など多くの専門家から指導・助言を頂きながら各種活動を実施してきた。本年度からSSHII期の採択を受け、SSH事業を深化拡充させていくためにも、I期目以上に外部連携を促進させたいと考えている。本校にとって貴重な人材を関係部署が協力し、外部連携人材バンクとして一元管理することで情報の共有化と事業の継続化を図りたいと考えている。

2. 目的

上記の趣旨を踏まえ、主に3つの目的で外部連携人材バンクを作成する。

- (1) 課題研究活動における指導・助言等に関する人材バンク
- (2) サイエンス特別講座をはじめ、各種講演会における講師選定
- (3) SSH事業を経験した卒業生の動向把握

3. 運用方法

右記のQRコードより「Microsoft Forms」から登録(入力)をしていただく。

※後日、本校HPにも外部連携入力用のページを作成予定。



4. 入力内容

- (1) 必須
 - ①氏名、②よみがな、③連絡先(メールアドレス)、④所属、⑤役職・肩書き等、⑥専門分野 ※選択式、⑦専門分野に関連したキーワード(5つまで)
 - ⑧連携可能事業※選択式(選択肢：課題研究指導・助言、各種講義、施設見学、人材紹介、その他)
 - ⑨本校SSH事業に関する定期配信の希望有無
- (2) 任意
 - ①本校卒業の有無→有の場合：卒業年度・卒業回

5. 担当

SSH部副部長 加藤 信行(高58回)

令和4年度卒業生 進路状況報告

1 令和5年度卒業生 大学入試合格状況

- (1) 大学入学共通テスト受験者 192名 (昨年197名)
- (2) 新卒国公立大学合格者最終延べ数(前・中・後期、独立、推薦) 129名 (昨年116名)
- (3) 過年度国公立大学合格者最終延べ数(前・中・後期、独立、推薦) 6名 (昨年1名)
- (4) 新卒・過年度国公立大学合格者最終延べ数(前・中・後期、独立、推薦) 135名 (昨年117名)
- (5) 主要大学の合格者数(卒業年度)

国公立大						私立大															
大学名	5年		4年		3年		2年		1年		大学名	5年		4年		3年		2年		1年	
	現	浪	現	浪	現	浪	現	浪	現	浪		現	浪	現	浪	現	浪	現	浪	現	浪
東京	1	1	0		0		3		2		早稲田	6	1	3		2		6		2	1
京都	0	1	0		0		0		0		慶應義塾	3	1	2		0	4	5		2	1
東京工業	0		1		0		0		0	1	上智	1		1		1		0		0	1
一橋	1		0		0		0		0		青山学院	4		2		3		7		1	1
大阪	0		0		0		0		0		学習院	3		0		1		1		0	
名古屋	0		0		1		0		0		中央	9	1	14		16		11	2	9	
東北	5		6		3		7		7		東京理科	3	2	3		7		11		11	2
北海道	1		0		0		1		0		法政	10		5	1	12	1	20	1	11	1
神戸	0		0		0		0		0		明治	12	2	7		10	2	22	1	4	1
東京外国語	1		1		0		0		0		立教	2		5		3		4		2	1
筑波	0	1	2		0		4		2		関西	1		0		0		0		1	
千葉	3		4		3		5		0		関西学院	0		2		2	3	1		1	
埼玉	11		3		6		5		8		同志社	0	1	1		0		2		1	
新潟	11		10		23		9	1	11		立命館	3	1	3		6	1	6	1	1	
金沢	1		0		2		2		0		駒澤	4		1		11		10		10	
横浜国立	2		0		0		1		2	1	芝浦工業	10	1	12		28	1	14		18	
東京学芸	1	1	0		0		2		1		専修	7		7		3	2	11	1	10	
東京農工	2		2		0	1	0		1		東海	12	1	10		21		18		14	
電気通信	3		2		1		0		1		東洋	24		34	1	14	3	6		2	
静岡	1		6		6		3		2	1	日本	20	1	47	1	42	3	33	3	32	
山形	13		10		14	2	5		12	1	神奈川	6		2		7		10		10	
茨城	4		2		2		2		1		国際医療福祉	9		16		14	1	17		13	
宇都宮	21		18		19		19		21		獨協医科	0		3		0		0		0	
東京都立	0		0		0		2		0		自治医科	0		1		0		0		0	
その他	47	1	49	1	64	2	40		51		その他	153	1	156	1	233	7	175	1	165	
現役前期合格者	113(含総)		97(含総)		128(含総)		92(含AO)		110(含AO)		現役私立大合格者	302		337		436		390		320	
現役国公立合格者	129		116		144		110		122		GMARCH・関関同立以上の合格者	57		48		63		96		46	

2 専門学校 3名 (進学者数)

3 就職 2名

特別活動の記録

令和 5 (2023) 年 10 月 ~ 令和 6 (2024) 年 9 月

【全国大会】

○SSC部

- ・第 6 回日本原子力文化財団主催課題研究成果発表会
優秀賞 2年 遅沢 陸翔
2年 藤本 拓実
2年 青木 一真
2年 筒井 蒼慧
- ・第 10 回宇宙エレベーターロボット競技会全国大会
グローバル部門出場 2年 星 拓臣
2年 平野 廣馬
2年 長谷川俊介
2年 鈴木 秀翔
2年 松本 陽希
2年 岡本聖ノ介

○英語部

- ・第 13 回日本高校生パラメンタリーディベート連盟杯
出場 3年 薄井 惇
3年 小林 奨弥
3年 熊田 春仁

○ライフル射撃部

- ・2024 年度第 62 回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会
10mエア・ライフル少年男子立射60発競技
出場 3年 小埜 憲聖 ジェシー

○陸上競技部

- ・第 97 回関東陸上競技選手権大会
男子 4 × 400mR 出場 1年 宇津野 暁

○スポーツチャンバラ部

- ・スポーツチャンバラ第 49 回全日本選手権大会
小太刀初段の部 優勝 1年 内野 侑
- ・第 78 回全国レクリエーション大会スポーツチャンバラ交流大会
基本動作 1 ~ 2 級の部 1位 2年 桑原 蒼空
3位 2年 桃井 陸
敢闘賞 1年 郡司 篤
- ビギナーの部 1位 1年 安達 朋哉
- 小太刀 1 ~ 2 級の部 1位 3年 藤田 理央
- 小太刀初段の部 1位 1年 内野 侑
- 両手長剣 1 ~ 3 級の部 1位 3年 藤田 理央
敢闘賞 2年 桑原 蒼空

【関東大会】

○陸上競技部

- ・令和 5 年度関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会
男子 800m 出場 1年 石川 悠斗
男子 1500m 出場 1年 石川 悠斗
男子 4 × 400mR 出場 2年 畠田 隼佑
2年 川口 柊斗
2年 糸井駿太郎
2年 溝口 蒼太
- ・令和 6 年度関東高等学校陸上競技大会
男子 4 × 100mR 出場 3年 糸井駿太郎
3年 岡 悠真
2年 山田 得暁
3年 渋谷 勇次
男子走幅跳 出場 3年 渋谷 勇次
男子ハンマー投 出場 3年 猪瀬 照英
男子 400mH 出場 3年 鷹栖 興翼
男子 4 × 400mR 出場 3年 糸井駿太郎
3年 川口 柊斗

- 男子 800m 出場 2年 石川 悠斗
- 男子 5000mW 出場 1年 深川 柊晴
- 男子 4 × 400mR 出場 3年 溝口 蒼太
- 男子やり投 出場 3年 清水 尚
- 男子 4 × 400mR 出場 3年 畠田 隼佑
- 男子三段跳 出場 3年 渋谷 勇次
出場 2年 石崎 瑠威

・第 97 回関東陸上競技選手権大会

- 男子 3000mSC 出場 2年 宇田川泰弘
- 男子 4 × 400mR 出場 2年 高野 空良
2年 室井 維月
- 男子 800m 出場 2年 石川 悠斗
- 男子円盤投 出場 3年 猪瀬 照英
- 男子 4 × 400mR 出場 3年 渋谷 勇次

○囲碁・将棋部

- ・第 34 回関東地区高等学校文化連盟将棋大会
出場 2年 岸本 京也

○SSH部

- ・サイエンスキャスル 2023 関西大会ポスター発表
奨励賞 2年 岸本 京也
2年 佐久間 和
2年 佐藤 環
2年 萩野 春輝
2年 田中 遼
2年 星 拓臣

○柔道部

- ・令和 6 年度第 72 回関東高等学校柔道大会
団体 出場 2年 伊藤玲雄斗
3年 高久 朔哉
3年 吉澤 和喜
1年 関谷 絆
1年 村上 竹蔵

○水泳部

- ・令和 6 年度関東高等学校水泳競技大会
男子 4 × 100m メドレーリレー 出場 1年 八木沢樹紀
2年 植木 大智
3年 阿部 匠真
3年 人見 豪嗣
- 男子 400m 自由形 出場 1年 八木沢樹紀
- 男子 200m 平泳ぎ 出場 2年 植木 大智
- 男子 100m バタフライ 出場 3年 阿部 匠真
- 男子 200m バタフライ 出場 3年 阿部 匠真
- 男子 1500m 自由形 出場 1年 八木沢樹紀

【県大会】

○囲碁・将棋部

- ・第 32 回全国高文連将棋新人大会栃木県予選
個人戦 第 3 位 2年 岸本 京也
- ・第 37 回全国高等学校将棋竜王戦栃木県予選
個人 第 3 位 3年 岸本 京也

○写真部

- ・第 45 回栃木県高等学校総合文化祭写真展
課題作品の部 準特選 2年 吉澤 和喜
佳作 2年 武藤 潤
A4 部門 奨励賞 2年 青木 一真

○合唱部

- ・第 46 回栃木県学生音楽コンクール
本選 声楽部門 第 4 位 3年 中郷 倅輔

○陸上競技部

- ・第 70 回栃木県陸上競技春季大会
男子三段跳 第 6 位 2年 石崎 瑠威
男子ハンマー投 第 5 位 3年 猪瀬 照英
男子 400mH 第 3 位 3年 鷹栖 興翼
男子 110mH 第 2 位 3年 鷹栖 興翼
男子円盤投 第 7 位 3年 猪瀬 照英
男子走幅跳 第 5 位 3年 渋谷 勇次

- ・第65回栃木県高等学校総合体育大会
 - 男子1500m 第8位 2年 石川 悠斗
 - 男子5000mW 第4位 1年 深川 柊晴
 - 男子走幅跳 第3位 3年 渋谷 勇次
 - 男子ハンマー投 第4位 3年 猪瀬 照英
 - 男子400mH 第5位 3年 鷹栖 興翼
 - 男子4×100mR 第4位 3年 岡 悠真
 - 2年 山田 得暁
 - 3年 渋谷 勇次
 - 3年 糸井駿太郎
 - 男子砲丸投 第8位 1年 村井 健仁
 - 男子やり投 第6位 3年 清水 尚
 - 男子4×400mR 第2位 3年 糸井駿太郎
 - 3年 川口 柊斗
 - 3年 溝口 蒼太
 - 3年 畠田 隼佑
 - 男子800m 第3位 2年 石川 悠斗
 - 男子三段跳 第2位 2年 石崎 瑠威
 - 第5位 3年 渋谷 勇次
 - 第8位 3年 猪瀬 照英
- ・第95回栃木県陸上競技選手権大会
 - 男子5000mW 第2位 1年 深川 柊晴
 - 第3位 2年 櫻井 蒔仁
 - 男子800m 第4位 2年 石川 悠斗
 - 男子円盤投 第6位 3年 猪瀬 照英
 - 男子110mH 第6位 3年 鷹栖 興翼
 - 男子4×400mR 第4位 3年 糸井駿太郎
 - 3年 川口 柊斗
 - 3年 渋谷 勇次
 - 3年 溝口 蒼太
 - 男子3000mSC 第7位 2年 宇田川泰弘

○ライフル射撃部

- ・令和6年度栃木県高等学校総合体育大会兼関東高等学校ライフル射撃競技大会栃木県予選会
 - 10mエア・ライフル少年男子立射60発競技
 - 第2位 3年 小埜 憲聖 ジェシー
- ・令和6年度 第78回国民スポーツ大会「SAGA2024」ライフル射撃競技会栃木県予選会
 - 10mエア・ライフル少年男子立射60発競技
 - 第2位 3年 小埜 憲聖 ジェシー
- ・令和6年度(第62回)全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会栃木県予選会
 - 10mエア・ライフル少年男子立射60発競技
 - 第2位 3年 小埜 憲聖 ジェシー

○相撲部

- ・令和6年度栃木県高等学校総合体育大会相撲競技
 - 70kg級
 - 優勝 2年 伊藤玲雄斗
 - 準優勝 3年 高久 朔哉
 - 第3位 3年 吉澤 和喜
 - 80kg級
 - 第3位 1年 関谷 絆
 - 団体
 - 第3位 2年 伊藤玲雄斗
 - 3年 高久 朔哉
 - 3年 吉澤 和喜
 - 1年 関谷 絆
 - 1年 村上 竹蔵
- ・令和6年度全国高等学校総合体育大会相撲競技栃木県予選会
 - 80kg級
 - 準優勝 3年 吉澤 和喜
 - 第3位 2年 伊藤玲雄斗
 - 第3位 1年 関谷 絆
 - 団体
 - 第3位 2年 伊藤玲雄斗
 - 3年 高久 朔哉
 - 3年 吉澤 和喜
 - 1年 関谷 絆
 - 1年 村上 竹蔵

○卓球部

- ・令和6年度栃高体連県北部支部総体卓球大会兼全国高等学校卓球選手権大会県北部地区予選会
 - 男子団体
 - 優勝 3年 山岸 昂平
 - 3年 石川 笑
 - 3年 橋本 武士
 - 3年 星 佳汰
 - 3年 大内 建哉
 - 2年 手塚 一虎
 - 2年 菅野 寛人
 - 2年 手塚 嗣遥

○スポーツチャンバラ部

- ・第25回栃木県スポーツチャンバラ選手権大会
 - 小太刀1~4級の部 第3位 3年 藤田 理央
 - 二刀1~4級の部 第3位 2年 桑原 蒼空
 - 楯小太刀・両手長剣1~4級の部
 - 優勝 3年 小熊 優斗
 - 準優勝 2年 桑原 蒼空
 - 第3位 1年 安達 朋哉
 - 敢闘賞 1年 鈴木 月彪
 - 小太刀有段の部
 - 敢闘賞 1年 内野 侑
 - 二刀有段の部
 - 第3位 1年 内野 侑

○水泳部

- ・令和6年度第65回栃木県高等学校総合体育大会水泳競技大会
 - 男子400m自由形 第7位 1年 八木沢樹紀
 - 男子1500m自由形 第3位 1年 八木沢樹紀
 - 男子100mバタフライ 第1位 3年 阿部 匠真
 - 男子200mバタフライ 第3位 3年 阿部 匠真
 - 男子400m個人メドレー 第8位 2年 神林 崇太
 - 男子200m平泳ぎ 第7位 2年 植木 大智
 - 男子4×100mフルーリレー 第6位 3年 阿部 匠真
 - 3年 人見 豪嗣
 - 1年 八木沢樹紀
 - 2年 植木 大智
 - 男子4×200mフルーリレー 第6位 2年 植木 大智
 - 3年 阿部 匠真
 - 1年 須田宗一郎
 - 1年 八木沢樹紀
 - 男子4×100mメドレーリレー 第7位 1年 八木沢樹紀
 - 2年 植木 大智
 - 3年 阿部 匠真
 - 3年 人見 豪嗣

・令和6年度第61回栃木県高等学校水泳競技大会新人大会

- 男子200m平泳ぎ 第3位 2年 植木 大智
- 男子1500m自由形 第3位 1年 八木沢樹紀
- 男子400m個人メドレー 第3位 2年 神林 崇太

○英語部

- ・令和6年度英語ディベート春季大会
 - PDA部門(個人)
 - 第2位 3年 熊田 春仁
 - PDA部門
 - 第3位 3年 熊田 春仁
 - 第3位 1年 薄井 優斗
 - 第3位 1年 永井 稔久

○柔道部

- ・令和6年度全国高等学校総合体育大会柔道競技栃木県予選
 - 60kg級
 - 第5位 3年 吉澤 和喜

公益財団法人紫塚奨学団報告

奨学団係 瀬尾 明久

本紫塚奨学団は、平成26年 4 月 1 日付けで、公益財団法人紫塚奨学団として認可されました。これまで長きにわたり当奨学団の発展にご尽力いただきました多くの方々に、心より御礼を申し上げます。ありがとうございます。今後も役員一同、更なる財団の発展を目指してまいりますので、ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

さて、当奨学団は大正 7 年、多数の同窓生から寄付された財産1,850円を基金として創設されました。事業の内容は、奨学資金の貸与と給付、優良生徒の顕彰であり、基本財産が生み出す利子を主な事業資金とするものです。基本財産の充実については、創設後からの篤志寄付に加えて、昭和57年度に迎えた学校創立80周年記念事業の主たる事業として取り上げられ、同窓会の熱心なご協力をいただき飛躍的に増額されました。その後も同窓会をはじめ多数の同窓生からのご寄付をいただいております。

特に平成30年より一括1,000万円以上のご寄付は奨学金に寄付者の名前を冠することといたしております。

公益財団法人となりまして、今後は更なる事業の充実を視野に入れ、将来、社会に有益な人材の育成に力を入れていく所存であります。ご趣旨に賛同される方はご協力のほど宜しくお願いいたします。

同窓生の皆様には、従来より奨学団へのご支援をいただいておりますが、今後ともなお一層のご理解とご支援をいただければ幸いです。

タイル工事・石工事・リフォーム工事



ハシモ株式会社
HASIMO

代表取締役社長 **橋本 徹** (高 32 回)

荒牧 量 (高 32 回) 山崎 洋 (高 33 回)
橋本 悟 (高 41 回) 渡辺 毅 (高 45 回)
郡司 啓 (高 52 回)

本 社 / 大田原市南金丸 2000 TEL 0287-24-0010 (代)
東京営業所 / 北区赤羽台 東北出張所 / 仙台市青葉区

医療法人 博友会



原眼科医院
HARA EYE CLINIC

院長 **原 裕** (高 20 回)

〒324-0042 大田原市末広 1-5-27
(JA なすの大田原ヨコ)
TEL 0287-24-0011

住む人の心にしみる木の香り

一般建築資材・新材材・住宅機器・新銘木・内装工事一式



有限会社 藤田材木店

代表取締役 **藤田晋輔** (高 54 回)

〒324-0047 大田原市美原 3-3266-1
TEL: 0287-22-2617

増 渕 忠 行

(高 16 回)

大田原市若草 1-114
TEL 0287-24-0287

吉成歯科医院

吉成慶司 (高 23 回)

〒324-0234
大田原市前田 145
TEL 0287-54-2600

老舗で安心



セレモニーホール あぶらや

有限会社 **油屋商店**

代表取締役 **吉川 翔平** (高 61 回)
取締役会長 **吉川 秀之** (高 34 回)
吉川 恵造 (高 7 回)

〒324-0047 栃木県大田原市美原 1-3523-5
TEL 0287-24-2411 Fax 0287-24-2412
URL <http://www.ce-aburaya.co.jp/>

中国料理 応竜

田代 誠一 (高 18 回)
田代 尚之 (高 47 回)

栃木県大田原市城山 2-2-12
TEL 0287-22-2801 (代)
FAX 0287-23-8383

季節の上生菓子

伏見屋菓子店

伏見 功一 (商 1 回)
伏見 雅志 (商 30 回)

フシミヤ
TEL 0287-23-2438
フシミヤ
FAX 0287-24-2438

医療法人 吉成小児科

吉成 仁見 (高 22 回)

〒324-0055
栃木県大田原市新富町 2-1-22
TEL 0287-22-2412

◆公益財団法人紫塚奨学団役員◆

- 理事 池嶋 英哲 君島 芳一 神島 仁誓
齋藤 良則 三森 謙次 藤原 和美
村山 二郎 弓田 昌広 手塚 英雄
瀬尾 明久 大宮司貴志 (11名)
- 評議員 吉岡 博美 佐藤 貴 菅谷 正男
大貫 晋 印南 洋之 鈴木 隆
見川 泰岳 加藤 正樹 佐川 浩一
津久井秀一 猪瀬 清隆 月井 祐二
田代 哲郎 (13名)
- 監事 荻原 伸夫 池田 秀敏 (2名)

◆奨学団の口座◆

○郵便局振替口座 口座番号 00350 - 4 - 11356
口座名 公益財団法人紫塚奨学団

◆お問い合わせ先◆

○係教諭 瀬尾 明久 0287 - 22 - 2042 (大高)

◆奨学団ホームページ◆

<https://www.murasaki-shougakudan.com/>

◆公益財団法人 紫塚奨学団◆

令和5年度事業報告

1 事業の状況

- (1)奨学金の貸与 大学生 2名
月額 30,000円×12ヶ月×修業年限
- (2)奨学金の給付 大学生 3名
一括 400,000円
- (3)奨学団賞授与
 - ①顕彰者 益子 晴成 (ましこ はるなり)
賞状と記念品(懐中金時計)を授与
 - ②3ヶ年皆勤者
43名に対して記念品(ネクタイピン)を授与

2 寄付金に関する事項

(令和5年4月1日～令和6年3月31日まで)

・橋本 忠明 様 (高14回)	30,000円
・桑原 裕 様 (高10回)	300,000円
・二ノ宮英寿 様 (高16回)	100,000円
・池嶋 英哲 様 (高20回)	30,000円
・藤原奨学金残金	225,148円
・令和5年度卒業生	198,000円
合 計	883,148円

合計50万円以上のご寄付をいただいた方々に感謝状を贈呈させていただいております。

*税制上の優遇措置(寄付金控除)について

この寄付金は税制上の優遇措置(寄付金控除)の適用を受けることができます。寄付金控除には、個人の場合、「税額控除制度」と「所得控除制度」の2種類があり、確定申告の際に寄付者(納税者)がどちらか一方の制度を選択できます。

法人の場合にも、寄付金の損金算入に関する明細書 別表十四(二)により損金に計上できます。

古美術ひろせや

〒324-0036
栃木県大田原市下石上1227
0287-29-0011
高20回 池嶋英哲
高52回 池嶋佑介

藤田山 圓光寺

住 職 神島仁誓 (高24回)
副住職 神島一誓 (高66回)
〒329-2755
那須塩原市西原町 4-5
TEL 0287-36-0476
FAX 0287-36-2965

株式会社
マキ厨房設備

代表取締役 楨 徳和 (高24回)
栃木県大田原市山の手 2-3-13
TEL 0287-22-2486

きれいな写真は、

ミハル写真館

〒324-0051
大田原市山の手 2-6-33
TEL 0287-22-2566



株式会社 万建設興業

代表取締役 渡邊将宏 (高45回)

Construction
Real Estate Development
Architectural Design



那須塩原本社 〒329-2726 栃木県那須塩原市扇町 10-1
TEL 0287-36-0075 FAX 0287-36-1138
<https://www.yorozukensetsu.co.jp/>

内科・小児科

鎌田 浅香 医院

鎌田 美樹雄 (高24回)
〒324-0043 栃木県大田原市浅香 3-3-9
TEL 0287-22-2703

お知らせ

◆◆◆大切なお知らせ！！◆◆◆

会報郵送について

- これまで会報誌上や総会等でお知らせしてきましたように、同窓会の予算支出のなかで大きな比重を占めているのが、会報の郵送費です。その結果、次のような提案がなされて進めていくことになりました。
- 紙ベースの会報の郵送費を抑えるために、紙ベースの会報を従来通り希望するのか、あるいはホームページで閲覧するので紙ベースの会報は不要かを、会報第 49 号を送付するに際して伺います。
- ついては、紙ベースの会報を従来通り希望する方は、同封した葉書に必要事項を記載してご返送ください。なお、切手代はお支払いください。
- 紙ベースの会報が不要な方は、葉書のご返送は必要ありません。
- したがって、今後の会報については、葉書で紙ベースの会報を希望された方のみを送付することになります。
- また第 39 ～ 48 号に同封された葉書をすでに本部宛に発送された方は、本部で承知しておりますので、今回同封の葉書を再返送される必要はありません。
- 以上、お手数をおかけしますが、よろしくお取り扱ひ下さい。

◆◆◆母校支援のご寄付を！◆◆◆

- 総会や常任理事会でも度々とりあげておりますように、卒業生のさらなる減少に伴いまして同窓会入会費も少なくなり、入会費がかなりのウェイトを占めている同窓会一般会計の収入が減少しています。このため従来のような母校支援が十分に行えない状況であります。
- 同窓会員諸氏のご援助をいただいて、より一層の母校支援に役立てたいと思います。ご協力くださる方は、下記口座まで振り込みいただければと思います。
- 郵便振込
口座名：栃木県立大田原高等学校内 紫塚同窓会
口座記号番号：00340 - 0 - 1748
※お振り込みいただく際には
①ご芳名②卒業年次③電話番号をご記載下さい。

編集後記

- 昨年度からコロナ感染も第 5 類に引き上げられ、様々な行事が行われています。本校生のさらなる成長はもちろん、同窓生の方々ご健康とご活躍を祈ってやみません。今年度も多くの皆様のご協力により、会報第 49 号の発行にこぎつけました。心から感謝申し上げます。

特別年度協力金にご協力をいただいた方【令和5～6年度】

総会 (令和5年6月3日)

NO	氏名	卒回	金額
1	池嶋 英哲	20	10,000
2	伊藤 和夫	21	2,000
3	菅谷 正男	21	2,000
4	和泉 卓哉	22	2,000
5	横 徳和	24	2,000
6	大橋 保	29	2,000
7	藤原 和美	30	2,000
8	尾崎 宗範	31	2,000
9	後藤 伸一	32	2,000
10	匿名希望	35	2,000
11	大木 聡	46	2,000

十年会 (令和6年8月18日)

NO	氏名	卒回	金額
1	増淵 忠行	16	2,000
2	桑原 裕	16	4,000
3	千保 次男	16	2,000
4	須田 耕永	16	2,000
5	藤田 宏和	16	2,000
6	殿生 征志	16	4,000
7	荒井 規夫	16	2,000
8	二ノ宮英寿	16	2,000
9	植田 勝	16	2,000
10	秋間 忍	16	2,000
11	池嶋 英哲	20	2,000
12	小島 耕一	26	2,000
13	神島 一誓	66	2,000
14	渡部 英樹	66	20,000

一般

NO	氏名	卒回	金額
1	高久 健二	10	20,000
2	蜂巢 貞美	11	100,000
3	君島 建二	20	10,000
4	大野 千里	21	10,000

高20回同級会 (令和5年12月16日)

NO	氏名	卒回	金額
1	君島 建二	20	2,000
2	清水 和美	20	2,000
3	扇 純一	20	2,000
4	海老原秀明	20	2,000
5	原 裕	20	2,000
6	池嶋 英哲	20	2,000
7	玉木 茂	20	2,000
8	本田 房雄	20	2,000
9	吉岡 博美	20	2,000
10	小林 正博	20	2,000
11	今泉 薫	20	2,000
12	伊藤 克夫	20	2,000
13	江連 定利	20	2,000
14	渡辺 和男	20	2,000
15	鈴木 篤則	20	2,000
16	松本 寿広	20	2,000
17	雲井 定俊	20	2,000
18	角田 憲治	20	2,000
19	本澤 広志	20	2,000
20	島田 工	20	2,000
21	杉浦 一幸	20	2,000
22	瀬尾 紀夫	20	2,000
23	鈴木 和芳	20	2,000
24	藤田 仁一	20	2,000
25	木村 茂	20	2,000
26	春原正三郎	20	2,000
27	伊藤 清幸	20	2,000

NO	氏名	卒回	金額
5	坂本 規彰	46	10,000
6	前原 秀光	47	10,000
7	前原 邦光	50	10,000

☆紫塚同総会 ホームページ☆

- URL <http://www.muradou.sakura.ne.jp>
- お問い合わせご意見等は E メールにて daiko1@muradou.sakura.ne.jp
- 同窓会報を第 34 号から掲載しています
- 卒業年度一覧を掲載いたしました



☆紫塚同総会 facebook☆

- 紫塚同窓会 HP からリンクできます。
- どなたでも発信し、どなたでも受信できるのが facebook の利点です。
- 同窓会の広報担当を中心として、これまで以上にタイムリーに発信してまいりますので、皆さまのご協力をお願いします。

